

富士河口湖町



# 教育センターだより

平成 22 年 12 月 20 日

## イルカさんの飾らない人柄、優しい話し方に癒されました

郡P・町P・教育センターの三者共催の教育講演会、大好評でした。「家族って素晴らしい～家族・命・そして音楽との出会い～」という演題のもと、普段忘れかけている大切なことが優しい口調で語られ、参加者の心に様々な思いを投げかけてくださいました。言葉の重みや子育て、教育の話をはじめ、たくさんの生き物たち、そして、地球へ向ける大きな心が、わかりやすく伝わってきました。人間一人ひとりを認めることの大切さ、共に関わりながら存在することの大切さ…もう一度我が子を抱きしめたいくなるような気持ちにさせてくれました。ゆったりとしたリズムで話されるお話からは感じられない心の強さ、重厚な時間を過ごしてきたイルカさんに感銘を受けました。絵本「まあるいいのち～ノエルの不思議な冒険～」の朗読も素晴らしく、心に残りました。「みんなが、ちがうことを知って、大切につながりあえる地球の家族のようだね」（本文より）…あらためて考えさせられました。

最後に歌ってくださった町うた「木の花の開く頃に」の澄んだ歌声には、参加者みんな大喜びでした。お昼近くに流れる時報（町うた）を耳にするたびに、イルカさんのお話が思い出されることと思います。



## ちょっといい話

先日、朝冷たい小雨の降る中、西浜小学校へ行きました。駐車場に車を入れて、足早に小学校に向かおうとしたところ、前の道から爽やかな「おはようございます！」の聲がかりました。ふと見上げると、スポーツバッグを肩にかけた中学生男子が一人歩いて行くのが見えました。私と目が合ったわけでもなく、知っている少年でもなく、登校途中の生徒から挨拶されるなんて、久しいことありませんでした。たった一人の生徒の行動ですが、西浜中学校の雰囲気垣間見られるような気がしました。私も、今朝、町役場の玄関で、挨拶をしそびれてしまった職員の背中に向かって、「おはようございます！」と大きな声をかけました。少し離れたところから、声が返ってきました。なんだかうれしく、いい一日の始まりだなと思いました。中学生に大切な心をもらいました。今回は、今年最後のお便りなので、夏以降の行事等の足跡を掲載する予定でしたが、少年の話はどうしても載せたくて、変更しました。こんな素敵な変更がこれからもあるといいと思います。

皆様がよい年を迎えられますことを、心より願っています。  
来年もよろしくお祈りします。（教育センター一同より）

